

厚木市郷土資料館NEWS 220

寄贈
された

ホール展示「“あつぎ百科”物語 ③人文編」

「資料」は何を語るのか

郷土資料館は、ホール展示「みんなでつくろう“あつぎ百科”物語③ 人文編 番外」を6月25日(日)まで開催します。

*

「資料館News」前号では、新資料として収蔵された下川入題目講中のオマンダラを紹介しました。郷土資料館では、地神、庚申を中心として地域の民間信仰資料の収集を進め、展示会、報告書などでご紹介してきました。今回は、厚木の人からも信仰されていた地域外の資料をみます。



▲八管神社(愛川町)のお札



▲帝釈天(題経寺)の掛軸

右は寅さんで有名な柴又・帝釈天^{たいしゃくてん}の掛軸、上部に南無妙法蓮華經、下部に特徴的な像容の帝釈天像が配されています。日蓮宗では江戸時代中期から帝釈天を庚申信仰の主尊^{しゅそん}とするようになり、この画像が広まります。左は八管神社^{はすげ}の御札です。長い歴史をもつ八管の修験者^{しゅげんじや}たちですが、明治期に帰農、八管神社も郷社^{ごうしや}となって信仰圏も狭まります。そのため、このお札は氏子しか手に入らないものとなりました。この他、秦野の白笹稻荷、足柄の道了尊^{どうりょうそん}など市域ではないけれど、厚木の人からも信仰を集めてきた近隣の神仏があります。展示替えでは、旭町・加藤芳明さんから寄贈された多数の掛軸、刷り物から民間信仰のあり方を考えてみます。今後も郷土のくらしを明らかにする資料、データの収集を進めます。

出前講座と学校（自然）①

身近なところから調べ、考える

相川小学校は相模川に隣接したところにあり、一年間を通じて動植物の観察や四季の変化を感じとることができます。その環境をいかして本校では「総合的な学習の時間」で、環境教育やフィールドワークを行っています。その際、郷土資料館の学芸員を講師としてお招きし、観察等のアドバイスをいただいています。

昨年度、4年生は「テントウムシ」について調べました。テントウムシはとても身近な



▲昨年の様子（学芸員からテントウムシの話聞く）

虫ですが、知らないことがたくさんあります。最初は基本的な記録の仕方から教えていただきました。そこからテントウムシの生態について、「どのあたりにいるのか」「季節によって数は変化するのか」といった疑問を解決するため、子ども達はグループで調査していきました。実際に捕まえ観察したり、図書室の資料で調べたりしたものを、最終的に子ども達は壁新聞にまとめました。そして、調べた成果を3年生に向けて発表しました。新聞のまとめ方はグループに任せていたのですが、見せ方や発表の仕方を工夫し、それぞれが面白い発表になりました。学芸員さんから、子ども達が気づいたことや、分かったことについて、さらに補足や説明をしてもらったり、壁新聞の内容について講評をいただいたりしたことで満足感・達成感を味わったようです。

その新聞を郷土資料館で掲示してもらえらることになり、子ども達はさらに修正をしたり、内容を付け加えたりしました。子ども達は掲示してもらえらということがとても嬉しかったようで、掲示期間中に足を運んだ子もいました。自分達で調べ、まとめた成果を、郷土資料館での展示という形で多くの人に見ていただけたことは、総合学習を創り上げていく上で、新たな可能性を与えていただいたともいえます。

今回は子ども達の作品を掲示する機会をいただき、ありがとうございました。今後も郷土資料館との連携を通して、さまざまな学習に取り組んでいきたいと思っています。

厚木市立相川小学校教諭 松山 愛

楽しみながら、生態、保全を学ぶ 自然観察会

厚木でホタルを観察しよう!

関東では、梅雨入りしてから、初夏の風物詩であるゲンジボタル(=写真)が発生します。沿岸部の湘南地方では6月初旬ごろ、内陸部では6月中旬ごろ、山麓では6月下旬ごろと、地域によって発生時期が異なります。厚木市内では、早いところで6月初旬、遅いところで6月下旬

の発生となり、県内ではロングランで観察する機会が多い地域です。

今回の観察会は、資料館の専門学芸員がガイド、解説を行います。風情あるホタルの光を楽しみながら、その生態や保全についても学習し理解を深めます。厚木市北部の山間部で観察しますが、観察地は生息地保全のため参加者にのみ通知いたします。交通の不便なところですので、自家用車でお越しください。市内在住、在勤、在学の方がお申込みいただけます。乳幼児につきましては保護者の責任で引率願います。また、ヤマビルが発生している可能性があること、生物の諸事情により観察できない場合があることをご承知おき願います。

●開催日時

6月24日(土) 18時30分から20時30分まで

●マイタウンでのお申込み

講座イベント番号 No. 172001

●往復はがきによるお申込み

締め切りは6月15日(必着)

〒243-0003 寿町3-15-26 郷土資料館「ホタル」係

※参加される方全員の氏名、年齢、住所、電話を過不足なく

明記してください。

●定員120人。申込み多数の場合は抽選です。

※お問い合わせ 厚木市郷土資料館 225-2515



▲ゲンジボタル



2017. 6月 郷土資料館カレンダー

日	曜日	行 事 内 容	実施場所	時間	対象等
1	木	ホール展示「あつぎ百科」物語③人文編番外 (~6月25日まで 資料館1階 エントランスホール)		9:00~ 17:00	◎
5	月	伝えよう わらべうたあそび!	学習相談室	10:00~ 15:00	◎
8	木	古文書解読会	学習相談室	14:00~ 16:00	◎
15	木	古文書解読会	学習相談室	14:00~ 16:00	◎
18	日	展示関連講座「あつぎ百科」の使い方 (学芸員によるギャラリートーク)	学習相談室	13:30~ 14:30	◎
19	月	伝えよう わらべうたあそび!	学習相談室	10:00~ 15:00	◎
22	木	古文書学習会「新編相模国風土記稿」を読む	学習相談室	14:00~ 16:00	◎
24	土	厚木でホタルを観察しよう	北部山間部	18:30~ 20:30	○



○申込み制

☆受講決定済みの方

◎参加自由

古民家岸邸の七夕まつり



■会期 平成29年6月28日(水)~7月9日(日)

※期間中休館日 7月3(月), 4(火)

■折り紙・昔あそび、民話のおはなし会 7月2日(日) 10時~14時

■会場 厚木市古民家岸邸(厚木市上荻野792-2)

《古民家岸邸6月の休館日》

5(月)、6(火)、12(月)、13(火)、19(月)、20(火)、26(月)、27(火)

(問い合わせ・申し込み先)

〒243-0003 厚木市寿町3-15-26

厚木市郷土資料館

<http://www.city.atsugi.kanagawa.jp>

TEL 046-225-2515

お知らせ

展示室の一部閉鎖

新施設へ移転準備のため、
6月1日より、1階の自然、2
階の考古コーナーの展示室を
閉鎖し、エントランスホールで
ダイジェスト展示を行います。

厚木市郷土資料館 news220

発行日：平成29年6月1日

編集：厚木市郷土資料館

発行：厚木市教育委員会